



父母と学ぶ会だより

NO. 25 研修報告号～H27年10月発行

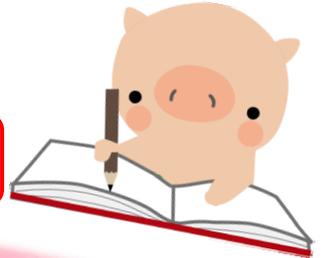


施設内研修会報告

H27年8月7日（金）

その1

障害者差別解消法について勉強会を開きました！



障害者差別解消法ってなに？

皆さんは「障害者差別解消法」を知っていますか？2013(H25)年に成立し、来年2016(H28)年から施行される障害者の権利を守るための法律です。

障害者の権利を守る法律といえば2012(H24)年に施行された「障害者虐待防止法」が頭に浮かびます。国連でつくられた障害者権利条約に批准するために日本では虐待防止などの障害者の権利を守るための取り組みをしています。

障害者差別解消法とはどんな法律？

- ①障害を理由に差別的取り扱いや権利侵害をしてはならない。
- ②社会的障壁を取り除くための合理的配慮をすること。
- ③国は差別や権利侵害を防止するための啓発や知識を広めるための取り組みを行わなければならないことを定めています。



詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。（右の図が表紙です）

その2

「虐待」について話し合いました。

今年になって介護や福祉の現場での虐待のニュースをよく耳にします。今回の「障害者差別解消法」に合わせて、それぞれ支援者が1つずつ自分で虐待についての新聞記事やニュースなどを調べて持ち寄り話し合いを行いました。



参加した感想

この事例がどんな人にも起こり得るものだと考え紹介したいと思った。職員のメンタル、職場の状況はどうだったのかを考えるべきだと感じた。

虐待を疑われる職員を誰も止めることができなかった。法律によって通報の義務化が内部告発に繋がったのだと思う。

「虐待」はもちろん起きてはいけないことです。ただ、全く起こらないのではなくちょっとしたズレが重なりあっていきエスカレートしていく、日々の連続の中で起こるものということが改めてわかりました。ズレが生じた時に「間違っている」とはっきり言える支援者間の人間関係を築ける職場づくりに今後も取り組んでいきます。

（文責 栗田 百江）



研修報告

H27年7月27日(火)

7月27日に職員間で護身術の研修を行いました。この研修では、①腕を掴まれた時②後ろから抱きつかれた時③胸ぐらを掴まれた時④肩を掴まれた時の4つの場面を想定し実施しました。実施する上で、掴んできた相手を傷つけずに相手から離れることに注意して行いました。

実際にやってみると普段なかなかこういった経験はなく、うまく出来ない人もいました。今回はあくまでも研修なので、相手も想定のとおり動いてくれましたが、実際にはそうはいきません。本気ので掴んできた相手は、相当の力を入れないと離れることはできません。

今回の研修を通じて何ごとも経験が大事だと改めて実感しました。人によってうまく出来た人とそうでない人もいましたが、実際の場面ではこの経験が役に立つと思います。誰しもとっさの場面では、一瞬頭が真っ白になりますが、この研修の内容を思い出し、冷静に行動したいと思います。

(文責 平井 勝)



後ろから肩を掴まれた時

- ①掴まれた方の腕を垂直に上げる。
- ②上げた腕を軸に小指側を振り下ろすように半回転する。
- ③相手を振り切り距離をとる。



救命講座を実施しました

H27年9月26日(土)

9月26日に石田消防署の方々がゆいまあるに来て下さり、普通救命講習Ⅰを実施しました。緊急時の対応として胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使い方について学ぶことができました。

まず、胸骨圧迫についてです。胸の上に手を乗せて片方の手は添えるようにして1分間に100回行うタイミングで30回圧迫をします。力の加減についてはテニスボールが半分潰れる力が丁度良いそうです。

次に人工呼吸についてです。胸骨圧迫30回をした後に人工呼吸を2回行います。鼻をつまみ、顎を上に向けて、口を覆うように人工呼吸をします。この際に感染予防のため、専用のシートを顔に被せます。感染防止が図れない場合は実施しなくてもいいそうです。

最後にAEDについてです。AEDは基本的に音声ガイドの指示に従って行います。使用する際は①安全の確認②体毛(パッドが浮いてしまうため)、金属(ネックレス等)の確認③パッドの装着④解析中は心肺蘇生法を中断する⑤ショックの際に周囲を確認することがあります。

緊急時に迅速な対応をするために冷静にかつ確実に行動していくことがとても大切です。皆さんも緊急時の対応についてご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？

(文責 溝口 諒)

1. AEDの準備

- ※AEDを持ってきてもらう
- ※頭の横あたりにおく



2. 電源を入れる

- ※ふたを開け電源を入れる
- ※メッセージが流れ、その指示に従う



3. パッドを貼る

- ※パッドを貼る準備をする
- ※貼付薬・ペースメーカー・水ぬれ等を確認する



4. 解析・ショック

- ※メッセージに従う
- ※「ショック」が必要であればメッセージが流れたらショックボタンを押す

